

教科書十六、十七ページ

☆単元の目標……()に当てはまる言葉を教科書の目標から抜き出そう。

・好きな表現を見つけ、（ ）声に出して読もう。

◎ まずは、音読してみよう。

《音読の表現を豊かにするために…》〔読むこと〕

① 「見えない」もの⇨「あんなに確かにあるもの」を考えてみよう。

「…」の下に続く言葉を教科書から書き抜こう。

大きな世界

・空の上には……

・波の底には……

身近な生活

・胸の奥には……

・次の垣根には：

- 少し遠くで……

るもの』とは何だろう。自分の考えを、理由を添えて書こう。

【参入】

[illegible]

③本文中に出てくる表現を確認しよう。【言語】

・「体言止め」が使われている所を三つ探し、そのまま書き抜きなさい。

三

三つ目

三十三日

30 JUN

・「対句」になっているところを探し、そのまま書き抜きなさい。

◎ もう一度本文を音読して、詩の理解を深めよう。

単元の目標・・・熟語の主な構成について理解する。

【言語】

二字以上の漢字を組み合わせでできた語を、**熟語**という。熟語の構成には、いくつかのパターンがある。それぞれの漢字の意味を考え、分類しましょう。

便覧228ページ「熟語の構成」から、該当するパターンの熟語を六つ書きましょう。
★チャレンジ：太字の□（下三つ）は、自分で考えて思いついた熟語を書きましょう。

①意味が似ている漢字の組み合わせ

【例】拡大（**拡**・ひろげる＋**大**・おおきい） 思考（**思**・おもふ＋**考**・かんがえる）

--	--	--	--	--	--	--	--	--

②意味が対に漢字の組み合わせ

【例】前後（前↕後） 強弱（強↕弱）

--	--	--	--	--	--	--	--	--

③主語と述語の関係（何「が」どうする／何「が」どんなだ）

【例】雷鳴（雷が鳴る） 地震（地面が震える）

--	--	--	--	--	--	--	--	--

④下の漢字が上の漢字の目的や対象を示す。（「下」を「上」する／「下」に「上」する）

【例】開会（「会」を「開く」） 就職（「職」に「就く」）

--	--	--	--	--	--	--	--	--

⑤上の漢字が下の漢字を修飾する。（修飾・・・くわしくする）

【例】熱心（熱い心） 逆流（逆の流れ） 水路（水の路 みち）

--	--	--	--	--	--	--	--	--

●教科書40ページ【練習問題1】に挑戦！裏面に解答あり（赤で丸付けをすること）

- ① 自我… () ② 着色… () ③ 国立… ()
④ 麦芽… () ⑤ 師弟… ()

★チャレンジ：（五〇分より）早くプリントが終わってしまったアサタは・・・

熟語の構成（二字熟語）の問題作りに挑戦！

【＋α 関心・意欲】

裏面にある「高橋先生が作った例題」のように、

教科書や便覧、ワークを参考にしながら、オリジナル問題を作ろう！

練習問題①の解答

1

次の熟語と同じ構成の熟語を()から選ぼう。
 ①自我 ②着色 ③国立 ④麦芽 ⑤師弟
 <雌雄 清浄 日没 兼業 濃霧 姉妹 極秘>

解答 ①清浄 ②兼業 ③日没 ④濃霧 ⑤極秘 雌雄・姉妹

- ①意味が似ている漢字の組み合わせ。清も浄も「きよい」の意味。
 ②下の漢字が上の漢字の目的や対象を示す。「業を兼ねる」主語と述語の関係。「日が没する」
 ③上の漢字が下の漢字を修飾する。「濃い霧」「極めて秘密なこと」
 ④意味が対になる漢字の組み合わせ。雌雄は、「めすとおす」。姉妹は、「あねといもうと」。

★オリジナル問題作りに挑戦！
 「自分で問題を作ること」は、「より深い理解」につながります。
 ＊解答も必ず添えること。
 テスト勉強に使えるような良問に期待します！(何問でも作っていいですよ！)

【高橋先生が作った例題】

①意味が対になる漢字の組み合わせによる熟語となるよう、()に漢字を入れなさい。

A、老() B、()誤 C、開() D、首()

②次の四つの熟語から、熟語の構成が他と異なるものを選びなさい。

ア、頭痛 イ、速報 ウ、新年 エ、青空

【答え】① A若 B正 C開 D尾 ② ア(頭)が「痛い」

二年 組 番 ()

単元の目標・・・三字以上の熟語の主な構成について理解する。

【言語】

教科書40ページや便覧229～231ページを参考に、表を埋めましょう。
★チャレンジ：太字の□は、自分で考えて思いついた熟語を書きましょう。

●三字熟語の構成

①漢字一字の組み合わせ (衣+食+住=衣食住)

松竹梅						
-----	--	--	--	--	--	--

②漢字一字+二字熟語の組み合わせ (初+対面=初対面 可能+性=可能性)

--	--	--	--	--	--	--

●四字熟語(四字以上の熟語)の構成

①漢字一字の組み合わせ (春+夏+秋+冬=春夏秋冬)

花鳥風月				
------	--	--	--	--

②二字熟語の組み合わせ (自前+夏晴=自前夏晴 全員+出席=全員出席)

--	--	--	--	--	--	--

③漢字一字と二字熟語の組み合わせ (運転+免許+証=運転免許証)

--	--	--

●教科書40ページ【練習問題2】に挑戦！裏面に解答あり(赤で丸付けをすること)

- ① () 経験 ② () 本意 ③ () 秩序 ④ () 常識
⑤ 比較 () ⑥ 有料 () ⑦ 妥当 ()

★チャレンジ：(五〇分より)早くプリントが終わってしまったアナタは…

三字熟語、四字熟語の意味調べに挑戦！ 【+α 関心・意欲】

裏面にある表に、便覧に書かれている初めて知った言葉を書こう。
「言葉」の豊富な知識を見つけよう！

2 次の○には「不・無・非・未」のいずれかを、□には

「的・性・化」のいずれかを入れて、三字熟語を作ろう。

- ① 經驗 ② 本意 ③ 秩序 ④ 常識
⑤ 比較 ☐ ⑥ 有料 ☐ ⑦ 妥当 ☐

解答 ①未 ②不 ③無 ④非 ⑤的 ⑥化 ⑦性

- ①から④は接頭語、⑤から⑦は接尾語である。
- ①「未」は、「いまだ」を示す接頭語。
- ②「不」は、下の語を打ち消す接頭語。
- ③「無」は、下の語の状態が存在しないことを示す接頭語。
- ④「非」は、下の語の状態でないことを示す接頭語。
- ⑤「的」は、「上の、性の、のような」などの意味付け加える。英語の「たの音訳にも用いられた。
- ⑥「化」は、「の性質になる」の意味を付け加える。
- ⑦「性」は、「の性質をもつた」の意味を付け加える。

★三字熟語、四字熟語の意味調べに挑戦！

便覧 2229 ペー ジ (三字の熟語) 、 230 ペー ジ (四字の熟語) から、
「へえ、こんな言葉あるんだ」「や」なるほど、こんな意味があるのか、」と思つた言
葉を表に書いていきます。

二 年 組 番 ()

金字塔	後世に長く残るような優れた業績。
日進月歩	日に日に進歩すること。

これであなたも熟語博士の仲間入りだ！

確かめプリント【中学校二年生】話すこと・聞くこと①

二年 組 番 ()

第一中学校の生徒会役員の大野さんは、ボランティア活動をテーマにスピーチをします。次は、そのスピーチのために取材し、集めた材料を整理したカードです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【集めた材料を整理したカード】

① 詩人の相田みつをさんの言葉（私が好きな言葉）

（相田みつを君にんげんだもの此による。）

（相田みつを「にんげんだもの」による。）

② 友達ボランティア活動に対する意識

- ・ 部活動や宿題で忙しいし、何をしたらよいかよく分からない。
- ・ ボランティア活動には興味があるが、機会が見付からない。

③ 周りの大人の意見

- ・ 探してみれば、中学生が参加できてるものはある。先生に聞いたり、インターネットで調べたりしてはどうか。
- ・ 中学生が積極的にボランティア活動に参加するのはよいことだ。

④ 中学生のボランティア活動の事例

吹奏楽部や合唱部が地元のお店街などで開催されるチャリティコンサートに参加して、募金活動を積極的にやっている学校がある。
（文部科学省『平成22年度文部科学白書』による。）

⑤ 私が行ったこと、思ったこと

- ・ 第一中学校では何がでできるのかを考えるために、生徒会主催で有志による会議を開いた。先生にもアドバイスをいただいた。
- ・ 地域の福祉施設で何かお手伝いできることはないか、生徒会役員が連絡をとることになった。
- ・ 小さな一歩だけれど、これを機に具体的に行動に移すことができればいい。

一 【集めた材料を整理したカード】からは、大野さんの取材の仕方についてどのようなことが分かりますか。取材の仕方の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 話に説得力をもたせるために、ボランティア活動に関する図や表を準備している。
- 2 ボランティア活動について幅広く考えるために、様々な人の話や資料を集めている。
- 3 話に具体性をもたせるために、ボランティア活動をした中学生にインタビューしている。
- 4 ボランティア活動の意義を考えるために、学校図書館の本で様々な人の考えを調べている。

1	のー
---	----

二 大野さんは、カードを見ながら①から⑤の順で話をすることにしました。②のカードから③のカード、③のカードから④のカードへ話を続けるとき、大野さんはそれぞれどのような言葉を使うとよいですか。次の1から4までのうち、最も適切な組み合わせを一つ選びなさい。

- 1 ②から③へ話を続けるときは「けれども」、③から④へ話を続けるときは「つまり」を使う。
- 2 ②から③へ話を続けるときは「つまり」、③から④へ話を続けるときは「けれども」を使う。
- 3 ②から③へ話を続けるときは「例えば」、③から④へ話を続けるときは「しかし」を使う。
- 4 ②から③へ話を続けるときは「しかし」、③から④へ話を続けるときは「例えば」を使う。

1	の二
---	----

田中さんの学級では、フリッツを使って調理実習の報告会を行っています。田中さんのグループは、ハンバーグを中心とした献立にしました。次は、代表の「田中さんの報告」と「配付資料」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

(注) フリッツ＝説明に用いる、図や絵、言葉などを集めた大塚のカート。

【田中さんの報告】

私たちのグループは、【配付資料】にあるように、教科書に載っているものの以外の材料を使って、ハンバーグのソースとその付け合わせを作りました。

ソースは、大根をすりおろしてしょうゆを加え、あつさりとした味に仕上げました。短時間でおいしいソースができました。

付け合わせは、残った大根の葉を刻んで、にんじんと一緒にいためました。



田中さん

＜材料＞

- 教科書に載っている材料
 - ・ ひき肉
 - ・ 卵
 - ・ たまねぎ
 - ・ 塩・こしょう
 - ・ パン粉
 - ・ 油
 - ・ 牛乳
- 教科書に載っていないものの以外の材料
 - ・ 大根
 - ・ ショウゆ
 - ・ にんじん
 - ・ レモン汁

【配付資料】

- 1 聞き手に説明の手順を示す。
- 2 話の内容を簡潔に示す。
- 3 聞き手に返事を求める。
- 4 話の内容を補う。

一つ選びなさい。

田中さんが話しながら示しているフリッツには、どのような効果がありますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを

	2